運営会議たより

7月/2020年/NO.42

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

■特集■P2～3

「新体制が発足しました／役員挨拶」

二つの確認

コロナ禍が収まらない現在、私たちも含め多くの市民団体が今後の活動の在り方を模索しつつある段階だと思います。三密を避けるという命題の下、市民活動団体の会員相互の意思疎通そのものをどう確保していくのか、私たち市民活動団体のミッションを市民にどのような手段で訴えていけばいいのか、の両面でむずかしい課題を背負うことになりました。こういう時こそ、市民活動団体相互の情報交換・情報共有を活性化して何とか活路を見出していきたいと考えます。

新体制発足の機会に、会員の皆様には次の二点を呼び掛けたいと存じます。

第一に、市民活動支援という縁の下の力持ち的な活動に携わる私たちとしては、長い目で考えて、市民活動が社会の進歩に貢献しているという確信を忘れてはいけないと思います。またこういう確信を市民活動に携わるすべての人々と共有し、常にその確信を新たにしながら地道に活動を続けていけるような条件をつくるのが私たち中間支援組織の課題だと考えます。

第二に、私たち「鎌倉市市民活動センター運営会議」の団体としての性格にかかわることです。私たちは市民活動支援をミッションとしています。そのことだけでも私たちの団体が市民に対し開かれた存在でなければならないことは明白です。また鎌倉市の指定管理団体として、市民の税金から「指定管理料」をいただき、さらには「認定ＮＰＯ法人」として、寄付金に関し税制優遇措置を受け、それと裏腹に、一般のＮＰＯ法人よりも一層高度な、経理・情報公開等の明瞭性を義務付けられています。明朗な組織運営をして、その様子を明瞭に市民の皆様に公開しなければいけません。「市民活動センター運営会議」のホームページもこのほどリニューアルし、一層の情報提供を図る体制とした次第です。

会員の皆様には、私たち役員に対し暖かく厳しいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。

（理事長　石川　勝己）

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市 NPO センター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

総会報告／理事・監事ご挨拶

令和二年五月二十三日に第二十一回通常総会が大路ビルにて開催され、令和元年度の活動報告・決算報告、令和二年度の事業計画・活動予算が承認されました．また、役員改選が行われ、理事八名、監事二名が決まりました。その後六月五日の第一回理事会で理事長および副理事長二名が選任されました。

理事長　石川　勝己

本業は社会保険労務士・ＦＰで障害年金の受給支援に携わってきました。自分自身の社会貢献活動として、当会相談部活動、デイサービスでの朗読指導、年金無料相談等をやってきました。今後は理事長として、市民に一層支持される団体として飛躍・向上できるよう全力を尽くす所存です。

ＮＰＯ活動は社会の進歩に貢献している、会員のみならず広く市民にとっても開かれた組織運営が大事、人生一〇〇年時代に高齢者もますます元気になれる、の三点を言い聞かせながら頑張ります。

副理事長　入江　麻理子

このたび市民活動センター運営協議会の副理事長をお引受けすることになりました入江麻理子です。

わたしは仲間とともに二〇〇〇年から子育てや市内のクリニック、介護、鎌倉野菜の話など暮らしにまつわる身近な情報を「鎌倉子育てガイド」としてインターネットで発信する活動をしています。今年は活動二十年にもあたり、ありがたいことに取材活動自身も落ち着いてきました。

そこでこれまでの経験を活かし、出会った様々な活動をされている皆さん、お世話になった方々のニーズを受けとめ、つながることで皆さんと一緒に歩み、支える力になりたいと思っています。

副理事長　小島　政行

鎌倉で市民活動を始めて、六年が経ちました。ようやく、いろいろなことが見えてきました。若返りと結束の必要性を感じています。お役に立てれば、幸甚です。

二〇一五年に国連参加各国が同意した「持続可能な開発目標」（SDGs）を柱に、地域の活性化を図る、その中心でありたいと考えています。鎌倉は気候非常事態宣言都市、SDGs 未来都市、そしてプラごみゼロ宣言の街です。皆さんと一緒に、その実現に貢献したいと思います。

理事　阿部　芳子

『家庭は簡素に、社会は豊富に』という友の会の標語に出会い、それにひかれて会員となって五十年あまりが過ぎました。社会を豊富にするとはどういうことかを考えつつ生活する中で、ごく自然に市民活動センターの活動に結びつき、いまに至っています。

ふり返って、運営会議と鎌倉友の会の一会員であることが、これまでの私の生活を進めてきた両輪だったと実感している昨今です。

理事　今泉　直也

初めまして、今泉直也と申します。生まれも、育ちも鎌倉で、鎌倉をこよなく愛しております。趣味はテニス、ウォーキング、食、お酒でございます。

鎌倉に拘りを持ち、会社も鎌倉にて設立しました。鎌倉の為に何か貢献出来ることはないかと思い、鎌倉ガーディアンズに所属し地域貢献にも積極的に活動を行っております。鎌倉ガーディアンズ以外にも、鎌倉の為にボランティア活動も行っております。

今後、市民活動にも参加させていただきより鎌倉に貢献出来るよう努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

理事としてどれだけのことが出来るのかとたじろぐ思いですが、皆様方のご協力を信じて進みたいと思っております。

理事　志倉　知也

還暦を過ぎたのを機に、三十五年余の北鎌倉と東京を往来する生活に

終止符を打ち、地元に回帰。五年近く市内有料老人ホームの現場で勤務し、その間、市内外の複数のＮＰＯ法人に所属しつつ現在に至ります。目下は、老人ホーム職員時代の経験と、取得した各種資格を活用し、高齢、障害、困窮と生きるうえで様々な困難を抱える方々の支援をしております。

すでに市内で活動している多数のＮＰＯ等とこれから誕生する市民活動に対し、今まで以上に活動のしやすい環境を提供できるように尽力してまいります。さらに個々のＮＰＯを有機的に結びつけ、より大きなパワーを生み出すことにより、地域の活性化、生活のしやすい街づくりを図っていきたいと思います。

理事　西畑　直樹

このたび、理事に再任され二期目を務めさせていただくことになりました。

これまでの経験を活かしつつ、市民活動団体の支援、地域との連携、市民の参画推進の三つを中間支援組織のミッションととらえて、皆さまが活動しやすい環境づくりのお役に立ちたいと考えています。昨年の市民活動フェスティバルのテーマは「対話と変容」でしたが、ここ数か月のコロナ禍を過ごす中で、ますます人と人とがきちんと向き合う対話の重要性に気づき、また、意識、ライフスタイル、働き方などなど、あらゆる点において個人の変容が求められていることを感じました。この大きな変化の時代に際して市民活動がどう変われるのか、進化していくのかとても楽しみです。共に挑戦していきましょう。

理事　望月　高明

稲村ガ崎在住の望月高明と申します。この度微力ながら運営会議の役に立てればと思いまして、理事の任をお引き受けいたしました。

現在ＮＰＯ法人鎌倉広町の森市民の会の常任理事兼副会長で鎌倉市都市公園「鎌倉広町緑地」の指定管理者として現場管理の職にも就いています。

市民の会の運営には様々な課題があり、運営会議の運営のノウハウを見習いたいと思っております。

また運営会議にもいくつかの課題があると伺っており、他の理事の方々と協力をして解決ができるように活動をしたいと思います。よろしくお願いします。

監事　岡田　龍子

このたび、監事を拝命いたしました岡田龍子です。市民活動との出会いは、二〇〇六年に同じ町内会の仲間である平井嵩さん（正会員・思想家）から「聞いて欲しい話があるので二〇〇〇円を持って一緒に来てほしい」と言われ出向いた場所がＮＰＯセンター大船の作業スペースでした。当時の事務局長から市民活動とセンターについて説明があり、断る理由もなく、平井さんを信じて入会のサインをしました。

さらに平井さんから「一緒に、廃部となったファンド部会の再建に力を貸してほしい、市民活動にとって大切な会だ。」との熱い思いに接し、二〇〇六年よりファンド部会一筋で今日に至ります。

色々な学びの場と素敵な仲間に出会えた事で、私の人生はより豊かになりました。また新しい良き仲間との出会いを信じて、この大切な役を務めさせて頂きます。

監事　那須　修

過去に二回監事の職を拝命しておりまして、今回が最後のお勤めとなります。

そもそも監事が活躍するような事では、役員会が円滑に機能していない事の裏返しでしょう。それ故「監事は閑職」であることがベストと考えています。理事会の活動が定款を始め、その健全性を確保するために定められている諸規定に準じて運営されていれば良い訳ですから、活動の細部に関与する必要性はないとの基本スタンスにて対応してきました。これからの二年間についても、この姿勢は堅持してゆきたいと考えています。

しかし世のなか大変な事になっていますので、少しでも協力出来ればとの姿勢も忘れずに事に当たって参りたく、宜しくお願い致します。

令和２年度主要スケジュール

月	指定管理事業	自主事業
4 月		
5 月		第 21 回通常総会（5/23）
6 月		
7 月	鎌倉パートナーズ発行　第 95 号	運営会議たより発行　第 42 号
8 月		
9 月	第 1 回利用登録団体懇話会 鎌倉パートナーズ発行　第 96 号	運営会議たより発行　第 43 号 第 1 回全員会議
10 月	かまくら市民活動フェスティバル	
11 月		「NPO 支援かまくらファンド」公開審査会（11/3）
12 月	第 2 回利用登録団体懇話会 鎌倉パートナーズ発行　第 97 号	運営会議たより発行　第 44 号
1 月		
2 月		第 2 回全員会議
3 月	第 3 回利用登録団体懇話会 鎌倉パートナーズ発行　第 98 号	運営会議たより発行　第 45 号

会　員　募　集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000 円
　団体正会員　3,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、２口以上
　団体 1,000 円、３口以上
正会員数　　88 名
団体正会員数　　11 団体
賛助会員数　　24 名
賛助団体数　191 団体
（６月末日現在）

『ＮＰＯ支援かまくらファンド』の実施について

◎2020 年度のファンドを募集します。是非ご応募ください。

募集期間　　9 月 1 日（火）～9 月 30 日（水）
公開審査会　　11 月 3 日（火・祝）
助成金総額　　40 万円

◎助成金はすべて、市民のみなさまからの寄附金です。
寄附の方法は 3 通りあります。
① ＮＰＯセンター鎌倉、ＮＰＯセンター大船の窓口へご持参
② お振込み
③ 玉手箱へのお品の提供および玉手箱へのご寄附

◎詳細は、別紙『「かまくらファンド」からのお願い』をご覧ください。

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定 NPO 法人」格を取得しています
“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問合せは NPO センター鎌倉まで！！